

# まちづくり

やさしさが  
つながる  
Series 59

## 地域おこし協力隊って こんなことをしています

地域おこし協力隊とは、都市部からの人材を受け入れ、地域協力活動を行いながら定住・定着を図ることで、地域の活性化を目指す制度です。尾道市では、御調町と瀬戸田町で1人ずつ、2人が活動しています。それぞれの町の魅力発信をはじめ、地域の人たちと一緒に、地域資源を活かした活動や課題の解決につながる活動を行っています。今回は、御調町での活動の様子をご紹介します。



地域おこし協力隊 黒田信二  
鹿児島県出身  
平成29年5月より、御調町で活動中。



知る

柿の里、また米どころといった特色をもつ御調町への着任当初は、新しく来たこのまちのことをとにかく知ることから始めていきました。尾道柿園の宗康司さんのもとでの柿の収穫・加工や、地域の田植え、広島無形文化財にも登録されている「みあがりおどり」など、実際に暮らしを体験しながら、体当たりで地域のことを知っていきました。



語る

公民館や小・中学校で、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の人達と地域の魅力や課題を語り合い、これからの御調のすがたを探しました。



伝える

御調町の豊かな歴史と自然、そして人の想いを知った後は、それらの地域の宝を、地域内外の人に伝えることに取り組みました。活動の一つとして収集した御調町の古写真を市役所本庁舎ロビーに展示・紹介したほか、ウォーキングイベントで町の成り立ちや昔の痕跡を実際に見て歩きました。



つくる

また、地域の中では、2019年2月に「チームクロスみつぎ」を創設。御調を盛り上げようという気持ちを持つ人が集まり、サイクリング関係者や農業経営、旅館経営など、さまざまな人がメンバーとして活動しています。もともと何か地域のために行動を起こしたいと思っていた人たちが、ここでつながりをつくることができ、一人ではできなかったことが実現できるような場となりました。町内の「見どころMAP」の作成や、サイクルイベント、道の駅での夏祭りなどを催し、御調町が元気になるような活動を続けています。



**活動報告会を開催します**  
地域おこし協力隊としての3年間の報告会を行います。  
日 3月18日(水) 18:00～ 場 みつぎいこい会館  
問 御調支所まちおこし課 (☎0848-76-2922)

## 地域の人に聞きました

道の駅クロスロードみつぎ駅長  
石原和典さん



黒田さんとは、協力隊に着任されてからの仲で、「チームクロスみつぎ」のメンバーとしても一緒に活動しています。私も九州出身で、御調に移住して6年目になりますが、御調町でも行ったことのない場所が多くありました。そんな中、有志のみなんでつくりあげてきた「チームクロスみつぎ」の集まりで、「みどころMAP」の作成をきっかけに、自転車に乗って色々なところに出向き、知らなかった御調の風景に出会い、新たな人とのつながりをつくるのができています。これからも黒田さんやチームのメンバー、地域の方と一緒に、御調の良さを再発見、再確認していきたいと思います。

市公民館長  
八津口哲行さん



黒田さんはそのざっくばらんな人柄からか、気が付いたら御調にすっかり馴染んでいました。それでも最初は、新しく来た土地で何をするか迷っていたようですが、昔の御調町の写真を集めて一つの冊子にする、という目標を立ててからは、色々な人の家に向いて写真を預かっている姿が印象的でした。収集した写真を使い、市公民館で開催しているふれあいサロンでスライドショーを行ったときには、集まった地域の人たちから、口々に懐かしがる言葉を聞いたのが、公民館長としても嬉しく思った出来事でした。地域にどんどん顔を出し、地域の人からも愛されている黒田さん。これからも御調町で活躍されるのを願っています。

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。日・日時・期間 場所 対象 内容 定員 料金 持参物 電子メール 締切

くらしの窓 健康・福祉 子育て スポーツ 芸術・文化 情報アラカルト 相談